

令和4年3月4日 議会改革特別委員会 議事録
10時29分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、原田 孝徳、小中真樹雄、小田上尚典、北地 範久、
日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 なし

○網谷委員長 それでは、始めさせていただきます。

定足数に達しておりますので、ただいまより議会改革特別委員会を開会いたします。

日程第1、議会報告会資料作成についてですが、今回の議会報告会の日程が4月23日ということです。

それから、議会報告会の正副班長会議で、議長から提案がございまして、議員の成り手不足についてという、それから括弧書きで議員定数の在り方ということで、タイトル名としてはそれなりにいいのではないかと私自身思いまして、これでよろしいですか、委員の皆さん。

意見交換会のイメージとしては、議員定数の在り方と、ただそれだけだったので、若干この成り手不足という文言を入れますと、意見交換のイメージとしてもかなり範囲が広がるのかなと思ひましてね。それで、成り手不足ということになりますと、我々議員からある程度の、市民の皆様のほうにも、事情とかそういうことも当たってもいいのかなというような、私自身思いまして、そういうふうな感じで捉えて、私自身思っておるのでございますが、そういうことで、せっかく議長から提案していただきましたので、皆さんが了承していただきましたら、それで行こうかなと思ひますが、いかがでしょうか。なければそれに。

小田上委員。

○小田上委員 意見交換していく中で、議員定数の話は出るんだろうと思うんですけど、何ですかね、成り手不足についてというところだけで全て包括されている気がして、括弧書きで議員定数の在り方についてと、括弧書きで書くと、そこだけなのかなというイメージにならんこともないかなと思うんで、ほかの委員の方の意見もだと思いますけれど、括弧書きなくてもいいのかなと思ひました。

○網谷委員長 ありがとうございます。今、私が自分なりに提示させていただいたんですけども、もちろん成り手不足についてと、括弧はなしで1個丸を入れて、こう2つの提出みたいな恰好にして、成り手不足についても1個入れておくということで、分かりやすいんじゃないかなと思ひます。

括弧を外すということも、それだったら、一応五分五分の、半分半分の意味合いになり

ますよね。その辺のところは臨機応変にできたらと思います。

ほかの委員の皆さんどうですか、今の。

小田上委員。

○小田上委員 すみません、いっぱい項目があると市民の方も分かりづらいとは思っているので、議員の成り手不足についてという、意見交換のタイトル1個だけで、もちろんその中で定数の話もしようとなっているので、定数の話になるでしょうし、お伝えすることも資料の中ではあると思う。特に議員定数についてみたいなのは要らないんじゃないかなと思います。成り手不足についてという1つだけで全部いけるんじゃないかなと思うんですけれど。

○網谷委員長 そうですか。

○小田上委員 1個だけでいいのかなと思いました。

○網谷委員長 皆さんよろしいですか、それで。

僕の感覚では、議員を入れた方が分かりやすいような気がするんですが。なければなくなってもいいんですが。なしにしましょうか。

日域委員。

○日域委員 今の小田上委員の提案というか意見は、要するに2つ書くんじゃなくて1つにしようということですね。それで、成り手不足ということの説明の部分で、議員定数のことですよ、タイトルの説明として文章をつけるのか、並列で2つみたいに書くのかと、その書き方の問題もあるとは思いますが、どっちなんですか。

○網谷委員長 その辺のところ、皆さん決めていただいたら。

小田上委員。

○小田上委員 あくまでも1案というところで、成り手不足についてという、それだけでまず報告していったら、その後に意見を頂いて、資料の説明もあるんでしょうから、あえて触れなくていいというか、書かなくても内容で触れますんで、成り手不足についてというもののだけで全て賄えるんじゃないかなと思っています。別にほかの文言を書かなくてもいいのかなと思いました。

○網谷委員長 議員も要らないわけですか。議員の成り手不足、議員という文字も要らないわけ。

小田上委員。すみません。

○小田上委員 いいえ、とんでもない。なので、いろいろありますけれど、付議事項の2個目ですね、議員の成り手不足解消に関する事項というところから引っ張ってきて、議員の成り手不足についてでいいのかなと思いました。それだけです。

○網谷委員長 その辺のところは、副委員長と相談しながらでよろしいでしょうか。皆さん、異議があれば。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 ということで、そういうことで、成り手不足という文言は入れさせていただきます。よろしいですね。

それから、前回の資料についてでございますが、前回、3項目ほど決めたんですが、復

習してみますと、小中委員の資料、全国2万から4万人の人口、議員数、または面積、報酬等を作っていただいておりますが、これを活用するということと、それから、議長主導のSNS発信、委員会のインターネット中継はもう実行されておるんですが、こちらの投稿再生等の検証ということで、これが2点目。それから3点目が昭和29年、大竹市が発足当時からの議員数の削減になっておるんですが、こちらの経緯。

主には以上、それから挨拶文、まあ読み原稿になるんですが、この3つが一応、資料が作成するのが必要ということで、前回の委員会で決まりましたので、一応これ確認の上ですがよろしいですかね、これで。

ということは、よろしいということなので、次は役割分担のほうに移させていただければと思うんですが、作った人が作っていただくのが一番ベターなのかなと思ひまして、最初の小中委員の資料を小中議員に作成いただければと思いますが、よろしいですかね。

○小中委員 私は別に構いません。

○網谷委員長 ということで、この件に関しては小中委員のほうに。

小田上委員。

○小田上委員 すいません、提示していただいた資料の出典、前回紹介いただきましたけど、市民の方に資料として渡すということですよ。

であれば出典等の、どこから引っ張ってきたよが分かるようにするのと、あとちゃんと正しいかどうかというのを、実際見比べてもないので、その作業を小中委員だけをお願いするのはしんどいかなと思うので、それを役割分担、もう少し人数割かれたほうがいいのかと思います。間違っていた、誤字脱字じゃないですけど、そういうものがないように、複数でチェックできる体制がいいのかなと思います。

あと、続けてなんですけど、実行されたもの、前回の寺岡委員長の頃の議会改革特別委員会に属していた委員が作るのがいいんじゃないかなとは思ひます。次の資料はですね。

SNSとかのやつは。ここに書いてないんですが、自由討議も入ってるというところの意識で書いていただけたらなという思ひがあります。

○網谷委員長 要するに、1人ではなく、2人か3人、複数の方で作っていただくという意味ですか。分かりました。

小中委員に先ほどお願いしたんですけど、お願いして申し訳ないんですが。

○小中委員 いや、全然いいですよ。

○網谷委員長 違う意味で、かなり部数が多いのでね。

これは私の一存ですが、広島県は14市ですよ、それとこれでは、これ全国、北海道から鹿児島まであるんですが、できれば中国5県くらいで。A4、1枚くらいで収まるかなと。できますかね。

○小中委員 なるほどね。だからそれもいいんですけど、何かこう、好きなようにしてください。

○網谷委員長 分かりました。ありがとうございます。

ということで、一応、小中委員の資料をメインにして。

どうしましょうかね、どなたか補佐で。

○藤川委員 はい。

○網谷委員長 それじゃ、藤川委員にお願いします。一緒にお願いします。

それから次に、検証ですかね。

一応4項目、前回の委員会の中で発表されとるんですが、議長主導のSNS発信。それから委員会のY o u T u b eですね。それから自由討議の制度導入。決算特別委員会での意見を正式に議会提案ということです。これら4つの検証の資料を作るということですね。やっとなやっとなは別に。それを、メインを前回からの委員会のメンバーがよかろうということなので、できれば小田上議員にメインになっていただけますか。

○小田上委員 はい。

○網谷委員長 それじゃあ、小田上議員によろしくお願いします。

補佐を、補佐の方を誰か1人、どなたか。

原田議員どうですか。先ほどのこれ4項目の検証をする上で、小田上議員が一応メインになって、小田上議員が4年間、まだ2年半ですが、在籍しておりますので、それに向けての検証の資料作りということで、補佐をお願いしたいんですが。

○原田委員 はい。

○網谷委員長 そうということで、よろしくお願いします。

最後に、昭和29年度からの、大竹市の発足当時の現在の議員が削減された経緯ですね。こちらのほうを北地委員、お願いします。

それからこの件につきましては、藤川議員のほうから削減した当時のコメントが、簡条書でも入れたらどうかということでございましたが、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 よろしく申し上げます、北地委員に申し上げます、それじゃ。

こちらのほうも補佐がおったほうがいいですね、やっぱり。日域委員どうですか、よろしいですか。

(発言する者あり)

○網谷委員長 いや、とんでもない。それじゃ、日域委員。補佐という言葉がいいか悪いか分かりませんが。昭和29年の、大竹市の発足当時の今までの、議員定数の変更があった、削減ばかりですが、それについての若干のコメントがあればまた。

そうということで、以上3つが決まりましたのでよろしくお願いいたします。

小中委員。

○小中委員 議員定数ですが、一番最初はむちゃくちゃ人数多いですね。それから減るのは、これはまさしく、何て言うのかな、よそに所属があったという、在任特例というので、一番最初は要するに人数が多いわけだから、それはもう明らかなので、それはもう必要いかないと私は思うんです。

○網谷委員長 その辺のところは一応北地委員と日域委員、考慮していただきまして、よろしくお願いします。

ということで、最後に読み原稿、挨拶文になるんですが、こちらは私が引き受けようという方がおられましたら。

○小中委員 それは委員長が作らないと。

○網谷委員長 分かりました。

それでは一応、西村副委員長と相談しながら、こちらは作成していきたいと思います。

以上、これで作成方法、人員も決まりましたので、今月中には結論を出して、月が変わったら議会報告会にいつでも提供できるような形にしたいので、検証をする日程を決めたんですが、今月中には、この今申し上げました資料作成を。

私の考えでは、議会の終わる25日ぐらいですか、それまでに作っていただきまして、その後の、28日からの週の、31日までの間に皆さんと一緒に確認をする作業をしたいんですが、いつがよろしいでしょうか。

局長、議長のスケジュールから見て、28日の週で31日まで、何かありますか。

局長。

○三上議会事務局長 3月30日の2時から会議が入っておりますが、それ以外は特に公務は入っておりません。

○網谷委員長 10時からよろしいですか。30日。

昼からまわっても1時、2時までには終わろうか思いますので、30日。

29日でもよろしいですかね、局長、29日でもよろしいですか。

○三上議会事務局長 はい。

○網谷委員長 それじゃ29日に議会改革特別委員会を開きます。

それまでに、25日から28日までですか、その間に皆さんの資料を熟読していただいたらと。10時、お願いします。

小田上委員。

○小田上委員 すいません、資料の様式なんですけど、A4、1枚がいいとか、A3もオーケーとか、特に指定がない状態ですかね。指定があれば合わせますけど。

○網谷委員長 できれば、今だけでも3枚になりますよね。できれば皆さん1枚ずつに収めていただいたら。A4が一番、収まりもいいと思うんですが。足らなければ2枚にしてもいいかとは思いますが。よろしいですか。

ということは、25日までに資料の作成をよろしくをお願いします。

それからすぐサイドアップしていただきまして、いつでも委員の皆さんが見られるようにしていただきたいと、事務局にはお願いしたいと思います。

それで3日ぐらいの余裕を持って、しっかり熟読していただきまして、意見が即座に発言できるようにしていただいたらと思います。それでよろしいですかね。

それではそういうふうに決めさせていただきます。

日程第2のその他になりますが、これは前回の委員会だったと思うんですが、どなたか委員会を昼からにしたらどうか、という意見が出たと思うんですが、皆さんどう思われますかねと思って。

昼からなら、じっくり時間があるという意味だろうと思うんですが。朝から10時から、2時間あれば、まずそれで足らなければ昼からに繰越しするということもありますので、10時ということでやっぱりよろしいですか。

以上で議会改革特別委員会を閉会といたします。お疲れさまでした。

10時52分 閉会